

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	総務企画部総務課
会議名 (審議会等名)	平成27年度 第2回 総合教育会議		
開催日時	平成27年8月7日(金) 11:00～12:00		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎 3-2、3会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	市長(議長)、淵教育委員長、大串教育委員、瀬戸口教育委員、梶原教育委員、杉崎教育長	
	事務局	総務企画部長、総務課長、総務課副課長	
	その他	教育部長、教育総務課長、学校教育課長	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	教育に関する大綱(案)【資料1】		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	総務企画部総務課
議 題	1 教育に関する大綱について		
内 容	市長が教育大綱の案を提案し、考え方の説明を行った。その後事務局より概要を説明し、委員からの意見を聞き協議を行った。		
審議経過	議長	<p>(提案)</p> <p>前回の協議内容を踏まえ、数か所の変更を行ったものを案として今回提案させていただきます。</p> <p>追加した項目として、ユニバーサルデザインによる施設整備、いじめ問題の課題への対応、生活困窮者に対する配慮の項目を入れている。詳細は、事務局より説明します。</p>	
	事務局	<p>前回の会議で教育基本計画を基にした教育大綱の体系を決めていただいたので、今回はそれに肉付けしたものを提示します。</p> <p>【各項目のポイントを説明】</p> <p>嬉野市総合計画の目標を達成すべく、嬉野市教育基本計画を尊重しながら、市と教育委員会が連携して教育行政を推進していくための大綱としたいと考えている。</p> <p>追記したところは、心身の障害や家庭環境の違いに関わらず、だれでも平等で共に学ぶことができる環境づくりの構築。ユニバーサルデザインを基調とした教育環境を支える環境の整備等です。</p>	
	委員	<p>大綱は、総合計画と教育基本計画の中間に位置するものになるのか。また、教育基本計画の内容を同じような形で記載してあるかかかなものか。</p>	
	事務局	<p>本市の最上位計画は、総合計画であるが教育大綱は教育基本計画を踏襲して市の教育の総合的な施策の方針を定めるものと考えている。他の自治体では、教育基本計画をそのまま大綱に置き換えているところもあるが、本市はそこに市としての関わり方を入れている。</p>	
	委員	<p>大綱は、教育基本計画の内容を多く記載してあるが、市長の考え方や教育委員会の考え方を簡潔に書けばよいのではないか。</p>	
	事務局	<p>大綱は、教育行政の方向性を示すものであると考えている。</p>	
	委員	<p>教育基本計画に記載してない、いじめ問題に対する対応や平等に教育を受ける機会の提供などが入っているので、その点はよいので</p>	

		<p>はないか。教育基本計画と大綱の考え方が大きく違うのであれば現場が戸惑うのではないか。細かな問題については、アクションプランで拾い上げていくことができる。</p>
委員		<p>「家庭環境の違いに関わらず、均等に学習機会が与えられ」とあるが、どれくらいの年齢までになるのか。</p>
市長		<p>生活保護になる世帯が増えているが、福祉部門では就労支援も行っているので、連携して取り組みたいと考えている。高校生、大学生には奨学金を貸与しているので、そこを含め生涯教育も考えている。</p>
委員		<p>教育委員では、障がいのある子ども等の表現については、「配慮が必要な子ども」などと表現しているが、大綱では「障がいのある子ども」と表現されている。どういう意図があるのか。</p>
市長		<p>福祉の面から見ると障がいと表現されるので、連携していくためにもそう表現した。</p>
委員		<p>I C Tを学習に活用するには、教師とともにより良い方法を検討していく必要がある。</p>
委員		<p>I C Tの利活用について効果を検証しながら進めるという表現は賛成する。機器をどう使うかが問題である。</p>
委員		<p>教育を支える環境の整備において、登下校時を含めて児童生徒を事件・事故・災害から守ることは大切であると考えてるので、危険箇所をどうするかを含めて安全管理に関する表現を入れてもらいたい。教育支援員の配置についても、今後も引き続きお願いしたい。</p>
事務局		<p>重点目標4に追記したいと思います。</p>
委員		<p>地域のつながりが薄くなっている中で、伝統や行事を続けていくことは難しくなっている。個人の自由に任せていたら伝統は守られなくなるのではないか。</p>
委員		<p>市内では、地域コミュニティで取り組んでもらえるようになった。青少年育成と併せて推進していく必要がある。</p>
委員		<p>嬉野市の「地域と学校の共生」は他の教育委員会からも注目されているので、もっと強調してもよいのではないか。</p>
委員		<p>現在の嬉野市では、学校が地域の核となって地域づくりができているので、今後も続いていくことを期待する。</p>
委員		<p>重点目標4は非常に良いことを書いてあるので、重点目標の2番目にしてもよいのではないか。</p>
		<p>(他に賛同する委員あり)</p>
事務局		<p>検討してみます。</p>
委員		<p>(他に表現や語句についての意見が数件あった)</p>
事務局		<p>今日ご意見をいただいたものについては、検討して大綱を修正します。</p>

		今後のスケジュールについては、修正をかけた大綱でパブリックコメントを行う。また、議会にも説明する。
その他		パブリックコメントが終わってから次回の会議を開き、大綱の決定を行う。その後、公表することになる。